

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会
2016年度第3回常任幹事会議事要録

日時：2017年3月10日（金） 14時～16時30分

場所：名古屋学院大学 さかえサテライト 第8講義室

出席：中部大学（蓑島 智子）、愛知大学（中村 直美、島田美津穂）

名古屋女子大学（尾崎 友子）、同朋大学・名古屋造形大学（前田 利明）

愛知学院大学（藤岡 聖子）、中京大学（渡辺 英二）、名城大学（皆見 司朗）

日本福祉大学（佐藤 雅信、石川 宗臣）、南山大学（加藤 富美）

名古屋学院大学（三井 哲、中田 晴美、矢澤めぐみ）

敬称略

議事に先立ち、理事校名古屋学院大学学術情報センター長（三井）の挨拶があった。議事進行は議長として選出された同センター長（三井）が担当し、下記の議題を協議した。

〔報告事項〕

1. 私立大学図書館協会、西地区部会関係

(1) 第2回東西合同役員会

理事校名古屋学院大学（中田）より資料(p.1～3)に基づき、第2回東西合同役員会について報告があった。2017年度予算から、役員校活動費と委員会活動費計上を検討されているとの説明があった。また、愛知学院大学（足立）が会長校に委員会活動費に関して聞き合わせた内容について報告があった。

(2) 第3回西地区部会役員会

理事校（中田）より資料(p.3～7)に基づき、第3回西地区部会役員会について会務報告、事業報告、決算報告等があった。会長校業務負担軽減については、2017年度より総会（6月）、役員会（6月、翌年3月）への役儀としての出席を求めないこととしたが、引き続き来年度も負担軽減について検討していくとの説明があった。

(3) 委員会報告

1) 協会賞審査委員会

理事校（中田）より資料(p.8)に基づき、2016年度協会賞の審査について報告があった。

2) 研究助成委員会

研究助成委員会委員長校名城大学（皆見）より資料(p.8)に基づき、研究助成審査等について報告があった。

3) 国際図書館協力委員会

国際図書館協力委員会委員校中京大学（渡辺）より資料(p.9～10)に基づき、実施事業等について報告があった。2016年度から海外集合研修は中止し、新たに設けた海外認定研修(B)に参加者があったが、海外派遣研修には応募者がなかった。これらの今後については次期委員会の課題とし、申し送りとしたとの説明があった。また、国際図書館協力シンポジウムの今後についても次期委員会に委ねるとの報告があった。

4) 協会ホームページ委員会

理事校（中田）より資料（p.11）に基づき報告があった。ITアドバイザーについては応募者がなかったため2017年度予算に業者委託予算が計上されたこと、レンタルサーバー移行に伴い理事校で行っていたメーリングリスト管理ができなくなり、そのつど業者に依頼することになったとの説明があった。

2. 東海地区大学図書館協議会

東海地区大学図書館協議会運営委員校南山大学（加藤）より資料(p.12)に基づき、研修会について報告があった。

[審議事項]

1. 2016年度東海地区協議会事業報告および中間決算(案)について

理事校（中田）より資料(p.13～18)に基づき、総会、常任幹事会等の事業報告があった。2016年度中間決算（案）について、収入の部に協会新規補助で研修会・講演会講師派遣補助が追加されたとの説明があり、承認した。

2. 2016年度東海地区協議会研究会活動報告および決算(案)について

研究会運営委員会委員長校愛知大学（中村）より、資料(p.19～23)に基づき、運営委員会、担当者会議、研究会、実務担当者研修会等の報告、および2016年度決算（案）について説明があり、承認した。また、「館灯」のNIIからJ-STAGEへの移行は、2017年2月に完了したとのことである。

3. 2016年度東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議活動報告および決算(案)について

理事校（中田）より資料(p.24～25)に基づき、運営委員会、図書館管理・運営実務責任者会議の報告、および2016年度決算（案）について説明があり、承認した。

4. 2017年度東海地区協議会役員校および委員校について

理事校（中田）より資料(p.26～27)に基づき説明があり、承認した。

5. 2017年度東海地区協議会事業計画(案)について

理事校（中田）より資料(p.28)に基づき説明があり、承認した。また参考として、私立大学図書館協会ならびにその他関連団体行事予定が紹介された。

6. 2017年度東海地区協議会総会(案)について

次期理事校愛知大学（中村）より資料(p.29)に基づき、2017年度総会について日

程（5月19日（金）開催予定）等説明があり、承認した。

7. 2017年度東海地区協議会予算(案)について

理事校（中田）より資料(p.30～32)に基づき説明があった。冊子「館灯」の位置づけについて問題提起があり、J-STAGE 移行後発行をすぐに中止するのではなく次年度に加盟館の意見を広く聴取して決めること、その際掲載内容のスリム化を検討することとし、また、広告掲載をしないことを再確認した。加えて繰越金額についても意見があり、今後の検討課題とすることとして、(案)を承認した。研究会運営委員会委員長校（中村）より補足があり、「館灯」の配布を一部分業者に委ねていたが、今年度より郵送にしたいとの提案があり、了承した。

8. 2017年度東海地区協議会研究会事業計画および予算(案)について

研究会運営委員長校（石川）より資料(p.33～37)に基づき 2017年度事業計画および予算（案）について説明があり、承認した。来年度は見学会開催の年であり、京都駅集合、貸切バス移動、京都駅解散で立案中とのことである。また、「館灯」編集については、副幹事校の名古屋女子大学が担当する。

9. 2017年度以降の理事校、役員校、当番校(案)について

理事校（中田）より資料(p.38～40)に基づき説明があった。研究会幹事校について、現行ローテーション一巡後の 2023 年度以降、担うのが困難な大学があることを考慮し、担当校の基準等を検討した後に記載し、当面は「未定」とすることとした修正案を承認した。

以上